

提案公募型協働事業追跡調査結果

①提案公募型協働事業と同様な事業を今年度も継続して実施していますか？

- 1、継続して実施している（実施する予定である）・・・5件→②～④、⑦を教えてください
- 2、実施していない・・・1件→⑤～⑦を教えてください

※継続している団体にお聞きします

②今年度継続して実施している事業について、財源はどのようになっていますか？またその内訳は？

財源	NPO法人 地域は家族・コミュニケーション			NPO法人 本島町笠島まち並保存協会			NPO法人 さぬきっずコムシアター		
	18年度	19年度	20年度	18年度	19年度	20年度	18年度	19年度	20年度
参加者からの負担金・利用料	500円 ／1回	500円 ／1回	1000円 ／1回				登録料 1,000円	153,600	100,000
市からの委託料							利用料		
その他の委託料							300円 又は 100円		
市からの補助金									
その他の補助金	953,000 (福祉医療機構助成金)	100万円 (財団助成金)					200万円 (福祉医療機構助成金)	200,000 (香川県)	
その他 (寄付・賛助金)				240,000 (内訳不明)	240,000 (内訳不明)			500,000	450,000

財源	NPO法人 転倒予防を考える会			NPO法人 さぬき風致美考会		ボランティアグループ ひこうきぐも	
	18年度	19年度	20年度	19年度	20年度	19年度	20年度
参加者からの負担金・利用料						140,624	
市からの委託料							
その他の委託料							
市からの補助金							
その他の補助金							
その他	自主財源 (講師のボランティア)	自主財源 (講師のボランティア)				20,600 (自主財源)	

財源	丸亀まちづくりネットワーク	ボランティア団体 げんき会	四国ドリームビズ	社会貢献活動フォーラム実行委員会
	20年度	20年度	20年度	20年度
参加者からの負担金・利用料		未定	未定	70,000
市からの委託料				
その他の委託料				
市からの補助金				
その他の補助金	60,000 (日赤)			50,000
その他 (広告収入)				40,000

③今年度の事業を実施するに当たり、協働の窓口になった市の担当課で相談をされましたか？また、その理由や、感想を教えてください。

1、した

- ・その都度相談している
- ・行政も取り組むべき協働の課題だと思うので。また、保育所、学校など現場の先生や保護者が対象であり、現場に出向く事業もあるため情報交換も必要と考えたので。NPOの活動の理解とか知ってもらうのではなく、課題に対しての話と今後について相談したいと感じました。市の取り組みとして考えていって欲しいと思っています。
- ・2007年度からのことで相談した。今年度のみの助成金なので、その後の継続として相談したが、なかなか市の受け入れは難しい。協働的な制度がある中で、市が、取り組もうとしないのは、前向きな協働推進にはならないと感じている。
- ・大変協力的である。
- ・まだ具体的には事業が進んでおらず、市の担当課との相談等は、今後行う予定である。
- ・国の施策である「つどい型ひろば事業」の取り組みを丸亀市でも実施していただけるようお話しさせていただいておりますが、(その足ががりの協働事業だったはず) 反応はかなり厳しいようです。
- ・協働で実施することで、中味が良くなる事業だと思うので。
- ・市の事業として行われ、委託にて実施し、利用する保護者や先生方に、支援が保障されたものになって欲しいと考えるので。

2、しなかった

- ・特にしていないが、講座の時点で参加者と協議し、年1回交流会をすることが了承されている。生活課に対しても別冊で提出した中にも記しています。
- ・順調に進んでいるため
- ・継続した事業だったので相談が必要な状況が特に生じなかったから。

④丸亀市の提案公募型協働事業として採用されて、今年度事業実施するにあたり、何か変化はありましたか？

- ・事業に対して賛同する声からあがっていたため、協力が得やすかった
- ・子どもへの理解・認知度が向上した
- ・行政との協働事業として始められたので、今年度継続しやすかったと思う。認知度、信頼度ができていたから
- ・課題に対する支援の必要性や当事者ニーズはあるため、継続していきますが、今の状態では、NPO独自の活動になることに疑問を持っています。軽度発達障害の課題は保育、教育に関わる子供たち全体、また取り巻く大人たちの課題で、協働の必要性も、緊急性もあるので、いい形での協力体制、ネットワークは出来ないか、これでいいのかと、(学校教育課とは話をしつつ進めています)悩みつつ実施しています。
- ・特になし
- ・丸亀市役所商工観光課及び丸亀商工会議所のバックアップが得られている。
- ・今のところ変化等はありません。
- ・行政との協働ということで、信頼は得られたと思うが継続する上では、何も影響はないと感じる。
- ・資金力が乏しくなり、活動よりも運営面を重視するようになり、活動自身が狭くなった。
- ・市の事業になっていないことは進展が無いと思うが、協働事業という形でスタートした事で、担当課との連携は、単独で働きかけることを考えると取り掛かりやすかったのではと思う。また、市民も安心感にはなったと思う。

現在も、児童課、学校教育課、健康課の職員の方の参加があるということでは、協働事業終了後、関係性が切れていないことは、課題の啓発には良かったと思うが、進展に繋がることを願っている。また、担当課にいた、教師や保育士さんが現場に異動になり、そこで、他の教員、保育士に声を掛けて参加してくれたり、保育所～高校までの教員間のネットワークが広がってきている。保護者もつながりの中で強く成長してきているなど、継続をしていることでの成果は毎年感じる。

※実施していない団体にお聞きします

⑤実施しなかった理由は何ですか？

- 1、収入の見込みが立たないため・・・1
- 2、事業の目的が達成されたため
- 3、団体の人手不足等団体内の理由のため
- 4、その他

⑥⑤の質問で、2以外の理由で実施しなかった場合、どのような支援があれば実施できると思いますか？具体的に教えてください。

- ・協働事業終了後もいろいろな面で相談にのってもらえるような所があればよいと思う。
- ・NPOが気軽に相談できる場所がなかなか無い様に思います。

※すべての団体にお聞きします

⑦提案公募型協働事業の成果は今年度の事業にどのように生かされていますか？

- ・介護予防に関する総合的理解の向上

- ・昨年、多くのメディアで発信されたため、宿泊者数が順調に伸びている。本島の観光客も昨年に比べ多くなり、観光施設の推進につながった
- ・ニーズの把握から、事業を継続する必要性は繋がりました。また、学校等への巡回相談は、3～4回継続して、3ヶ所行くことにして、経過も把握しつつ実施できるようにしました。継続してきた事で事業の次の課題も感じています。
- ・私たちの事業は、丸亀市内各地域からウォーキング推進員の養成講座であって、地域での活動は推進員のやる気と地域環境等で異なり、一様には進まないと思います。ゆえに交流会で状況をつかみ、遅れている人には相談に応じ推進する。行政も人事ではなく広報などで応援していただければと思う。
- ・協働担当課が大変協力的であるため、継続が容易である。
- ・市民の方々に介護予防の認識の構築が出来た。
我々自身も介護予防に対する取り組みが以前より強くなった。
- ・先の協働事業では、講演会、シンポジウムなどをとおして、企業とNPOとの概要的な相互理解ができた。今年度の事業では、それをベースとして、具体的、個別的な交流によって、さらなる相互理解・認識を深め、互いの社会貢献活動推進につなげていきたい。
- ・NPO の持つ専門性や柔軟性といった特長を最大限に生かせるよう計画立案段階から相互に知恵を出し合いながら施策を構築すること、また NPO だけではわからない部分のアドバイスを行政側からももらうことで、活動の幅が広がった。
- ・実際にある程度の期間、定期的に活動を行うことで、回毎に改善点を見つけ改善する事ができるなど、活動の質を一層高めることに繋がっている。
- ・民間が実施する子育て支援事業「ひろば事業」として香川県では認めていただき、対象者の方々にも広がりつつある。継続する上で、対象者との繋がりもでき、支援を受ける立場から協力する体制へと成長しつつある。また、様々なネットワークができ、その繋がり協力も得てきている。
- ・情報発信の仕方や他団体、行政との連携について学べた。
- ・(行政とのこと)
担当課などとの関係が切れてはいない事で、情報交換などできていること。
学校などにチラシ等配布する際、課からの鑑を付けてくれるなど、受け入れやすくなるようにしてくれている。
課が主催の、職員研修等で、発達障害のことを取り入れてくれる。
保護者や先生方の現状を知ってもらえる機会にはなっていると思う。
- ・(団体として)
行政との接点を持ち、働きかけも続ける中で、自分たちの本当に実現したいことを感じたり、繰り返し考えていく機会になった。
丸亀で、協働が進み、市民活動が育っていくことを思うようになった。